

(様式 1-3)

福島県（川内村）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和 2 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	172	事業名	被災地域農業復興総合支援事業 (醸造施設整備事業) 川内村	事業番号	(5)-43-34
交付団体	福島県	事業実施主体 (直接/間接)	川内村 (間接)		
総交付対象事業費	374,000 (千円)	全体事業費	374,000 (千円)		
帰還環境整備に関する目標					
<p><現状></p> <p>川内村は、東日本大震災と原発事故からの復興に向けてこれまで歩みを進めており、現在、帰還率は 8 割程度となっているが、原子力災害に伴い長期避難が余儀なくされたことから、子育て世代の流出による若者世代の帰還が進んでいない。</p> <p>また、令和元年産米の作付は震災前の約 7 割にあたる 209ha まで再開が進んでいるが、農業者の営農再開率は約 3 割であり、農家世帯の高齢化と農業の担い手不足等の問題が顕在化してきている。</p> <p>このような厳しい現状に直面しているなか、川内村では、地域資源を生かした新たな農林業の確立と新たな産業づくりを推進、その結果として定住人口・交流人口を増やし、若者をはじめ住民一人ひとりが希望を持って暮らせるような、そして多くの人々を引き付けるような魅力ある村づくりを目指している。</p> <p><農業復興の方向性></p> <p>川内村では川内村総合計画においてエゴマやハウスぶどう、ワインぶどうを新規作物に位置づけており、県や JA 等と連携し、栽培農家の増加を図っている。</p> <p>ワインぶどうにおいては、現在、約 3ha (約 10,000 本) 定植されており、令和 5 年にはさらに約 1ha (約 3,000 本) 新植する計画であり、将来のワインづくりを目標とした事業を進めている</p> <p>本事業により醸造施設を整備することで、ワインぶどう栽培からワイン醸造・販売までを行う基盤を整備し、地元ワインを通じた魅力発信、希望を持って暮らせる帰還環境を整備する。</p>					
事業概要					
<p><本事業で施設を整備する理由></p> <p>本事業により醸造施設を整備することで、ワインぶどうの栽培面積拡大や雇用 (正規雇用 5 名及びパート雇用 3 名) の場を創出し、村民の帰還を促す。</p> <p><整備内容></p> <ul style="list-style-type: none">施設概要：醸造施設 1 棟 (施設面積 561 m²、敷地面積 2,300 m²)品目：ワインぶどう処理能力：ワインぶどう 19t/ワイン 14KL (750ml 換算 19,000 本) <p><市町村計画等></p> <ul style="list-style-type: none">川内村まち・ひと・しごと創生総合戦略P.24 3. 川内村総合戦略における戦略目標及び政策パッケージ<ul style="list-style-type: none">(1) 戦略目標 1 村内での企業及び企業誘致の両輪により村にしごとを創る<ul style="list-style-type: none">② 地域資源を生かした起業の促進 (6 次産業化・特産品開発等)<ul style="list-style-type: none">・ 新種作物の導入 (ワイン用ぶどう栽培など)『第五次川内村総合計画』P.14 3. 基本構想の体系①：村ならではの資源を生かした魅力的な「しごと」づくりP.15 基本施策①：村ならではの資源を生かした魅力的な「しごと」づくり<ul style="list-style-type: none">(2) 農林業振興<ul style="list-style-type: none">川内村ならではの資源を活かした新たな農業・地域ぐるみでの農林業体制の確立を考える必要があります。P.35 3. 基本方向ごとの各論 P.37 □①-2 農林業振興 ○現状と課題、◎基本方針P.36 主要取組 ワイン醸造施設の整備<ul style="list-style-type: none">1. 農業担い手づくり ・ U、J、I ターン者、新規参入者への技術支援及び農地確保などの就農支援4. 遊休農地の有効活用、農地の斡旋6. 農産物特産物の開発研究					

当面の事業概要	
<令和2年度> 建築工事 367,226千円 設計・管理 6,774千円	
地域の帰還環境整備との関係	
「ワイン醸造施設の整備」と「将来村内でのワインぶどう作付面積及び植栽本数の増加」により、川内村の若い世代の新たな新規正社員雇用創出（5名程度）とパート雇用（3名程度）が見込まれる。	
関連する事業の概要	
○効果促進事業 第29回申請 敷地造成工事	
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。	
関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

川内村全図

福島再生加速化交付金事業(被災地域農業復興総合支援事業)全体計画

- 村内ミニライズセンター設置場
- ミニライズセンター整備中(令和元年度)
- 野菜栽培施設整備中(令和元年度)
- 醸造施設整備予定場所(令和2年度)

地区名:大平地区
灌漑面積:561㎡
整備年度:令和2年度
事業名:醸造施設整備事業
貸与先:かわらびワイン株式会社

地区名:第1区(後谷地地区)
面積:A=25ha
整備年度:令和5年度
事業名:穀類乾燥調製施設整備事業
(ミニライズセンター)整備事業
貸与先:高菜島農業生産組合

地区名:第3区
面積:A=30ha
整備年度:平成30年度完成
貸与先:第3区ライズセンター灌漑利用組合

穀類乾燥調製施設整備事業
ミニライズセンター
上川内字中里地区

下川内機械利用組合耕作地
作付面積A=20ha

地区名:第7区(黄山地区)
整備年度:令和20年度
事業名:野菜栽培施設整備事業
品目:イチゴ
貸与先:(株)農
※村内選出企業

地区名:第4区
面積:A=30ha
整備年度:平成28年度
貸与先:農事組合成人、農業大業

農業大業耕作地(4区)

帰還環境整備(第16回)事業採択事業で整備

(株)総里耕作地
作付面積A=20ha

帰還環境整備(第15回)事業で整備済み。

第6区アグリテリ耕作地
作付面積A=18ha

東日本大震災農業生産対策交付金事業で整備

20千口境界

